



地域で取り組む災害時への備え

災害ボランティアセンター シミュレーション

今年に入り、全国各地で地震が相次ぎ、1月に発生した能登半島地震では、現在もなお災害ボランティアによる支援が継続されています。

島本町で大災害が発生した場合、社会福祉協議会（社協）は「災害ボランティアセンター」を設置し、被災された住民の生活再建を支援します。自分たちのまちの復旧・復興を支援する災害ボランティアセンター運営を効果的、効率的に展開できるように、社協は毎年、地区福祉委員を対象に災害ボランティアに関する研修を行っています。

今年も災害ボランティアセンターのシミュレーションに取り組みました。島本町地域貢献連絡会からクローバーしまもと、福祉事業所すばるの2施設が被災者役、福祉委員がボランティア役でロールプレイを行い、福祉施設と福祉委員、社協、行政で、改めて災害ボランティアセンターの役割と機能についての理解を深めました。



ボランティア依頼の説明



ボランティアの受付

福祉委員インタビュー



第三地区 猪飼公栄さん

地域で災害が起きた時、すぐに動くことはできなくても、自分のことが落ち着いた時にお手伝いできることがあればと思います、災害ボランティアの事前登録をしました。

今回のシミュレーションでは、災害ボランティアセンターを運営する側の役割を体験しました。災害ボランティアの受け入れからボランティア活動終了までの流れを知ただけでなく、災害ボランティア活動を自分ごととして捉えることができ、訓練であっても参加し、体験することの大切さを実感しました。

災害ボランティアには若い世代の力がもっと必要だと思います。学校の福祉教育で災害ボランティアに関する学びを取り入れたり、自分たちが学んだことを若い世代に伝えることなどを通じて、地域の取り組みが幅広い世代に広がっていくことを期待しています。



「もしも」の時に助け合えるまちを目指して 災害ボランティア事前登録制度のご案内

災害時に迅速で効果的な被災者支援につなげるため、災害ボランティアの事前登録にご協力をお願いします。

対象 18歳以上で島本町在住・在勤・在学の個人（資格は問いません）

登録条件 被災地でボランティア活動をする際はボランティア保険（天災補償型）に加入していただきます（登録時の加入は任意です）。

登録方法 Googleフォーム（右記二次元コード）より登録



Google フォーム